ŌMIYA NEWS

No.60　2023年10月20日　JR東労組大宮地本

業績回復の一方で労働実感・生活実感は厳しくなるばかり!
私たちには年末手当満額獲得が絶対に必要だ!

■ 職場の苦闘により業績回復を実現！

♦上半期の鉄道営業収入は大幅回復！

鉄道営業収入の推移	定期	定期外	合計
2022年度比	108.2%	131.3%	124.7%
2018年度比	84.1%	90.8%	89.1%

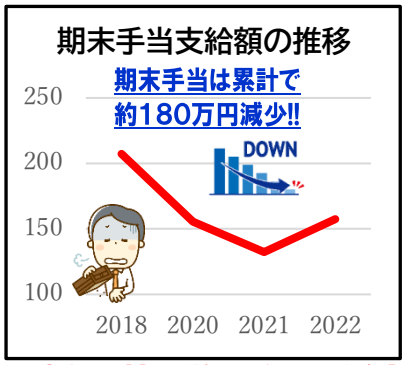
業績は順調に回復中!!

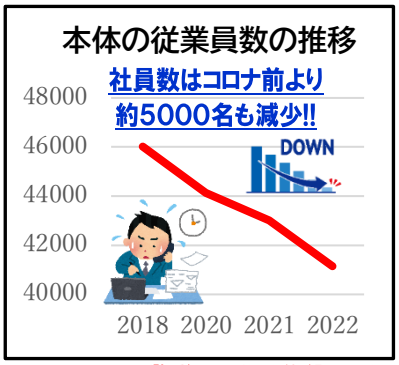
♦第1四半期決算は増収増益！

単体の営業収益は503億円の増加で前年比112%！
連結の営業収益は718億円の増加で前年比112%！
連結の営業利益は801億円で前年比199%、純利益は448億円で前年比236%を達成!!

■ 一方、労働実感は？

※「労働条件のあゆみ」「有価証券報告書」を元に作成





コロナ以降、期末手当は累計で約5.38カ月も減少し、支給額は累計で約180万円も減少！ さらに一昨年の定昇カットの影響で約11万円も減額!

一方、会社施策と組織再編により業務が複雑化する中、社員数は5年で約5000名も減少し、負担はさらに増大!

賃金も社員数も大きく減少！ しかし、業務は複雑化し負担増大！ 労働実感は厳しくなるばかりだ！

■ そして、生活実感は？

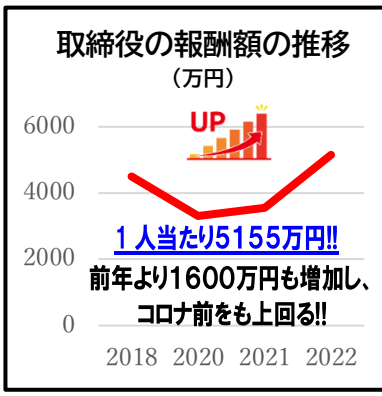
※帝国データバンクの調査及び
みずほリサーチ＆テクノロジーズの試算

～今年の食品値上げ品目数～

生活品の値上げは食品だけで既に31887品目の値上げが判明!! その他にも円安や原油価格の影響で光熱費や耐久財等多くが値上げされ、1ドル＝150円の場合、家計負担は昨年比で約10万円、21年度比で約21万円も増加するとの試算もある。

家計負担は2年で21万円も増加!!生活実感は厳しくなる一方!!

■ それでも、役員報酬だけは…



社員には「目標未達」「コロナ前には戻らない」としつつも、一人当たりの報酬は5155万円で前年より1600万円も増加!! コロナ前を600万円も上回る!!

役員報酬だけはコロナ前以上の水準を確保！

**厳しい労働実感・生活実感の中で奮闘しているのに、私たちの年末手当は本当にこのままで良いのか？
会社は今こそ満額回答で職場の苦闘に報いるべきだ！ 東労組への結集を呼びかけ、共にたたかおう！**

ŌMIYA NEWS
No.61　2023年10月20日　JR東労組大宮地本

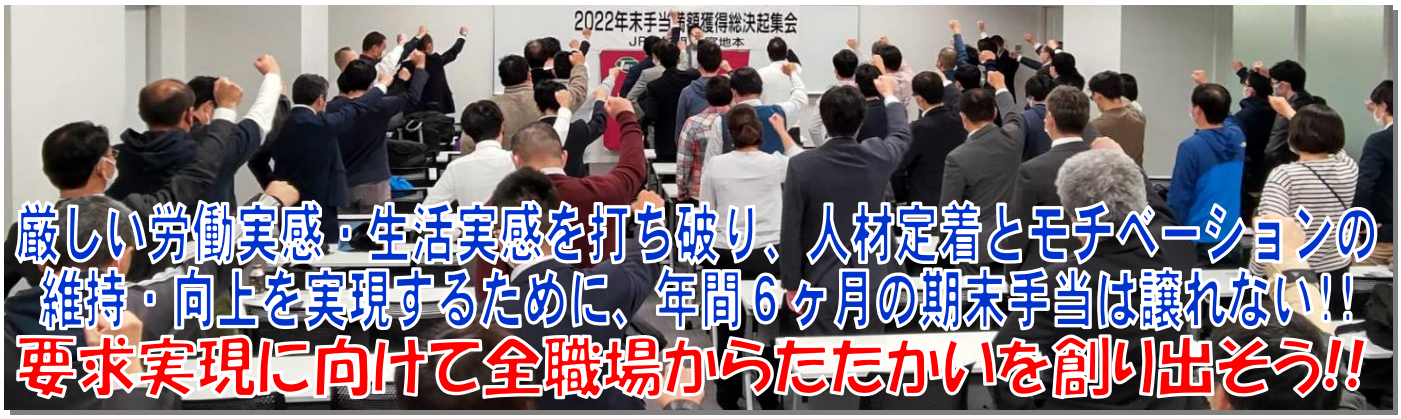
JR東労組 申7号

2023年度
年末手当に関する申し入れ
基準内賃金の 3.7ヶ月 要求!!

厳しい労働実感・生活実感の中で業績回復を実現した職場の努力に対し、今こそ満額回答で報いるべきだ！

【要　求】

1．要求額　基準内賃金の 3.7 ヶ月
2．回　答　2023 年 11 月 14 日まで
3．支　払　2023 年 12 月 5 日まで



厳しい労働実感・生活実感を打ち破り、人材定着とモチベーションの維持・向上を実現するために、年間６ヶ月の期末手当は譲れない!!
要求実現に向けて全職場からたたかいを創り出そう!!

ŌMIYA NEWS

No.67　2023年10月31日　JR東労組大宮地本

第2四半期決算も大幅回復！ 7～9月の連結純利益は前年比8.8倍増益！
厳しい労働実感の中で安全輸送を担い、業績大幅回復を実現したのは私たちだ！

♦2023年度第2四半期決算も大幅増収増益！

単体の営業収益は 1371 億円の増加で前年比116％！
うち運輸収入は 1491 億円の増加で前年比122％！
※「その他の収入」が減収のため、営業収益の増加額は運輸収入の増加額を下回る

運輸収入は 1491 億円も増加し、コロナ前比約90％の水準！

全てのセグメントが増収増益!!

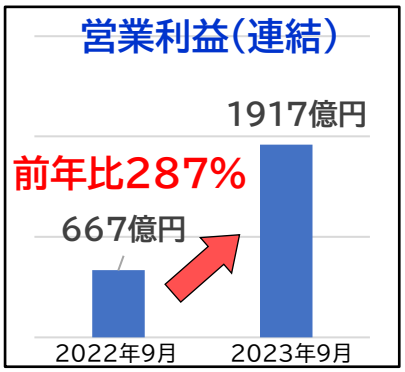
連結の営業収益は1847億円の増加で前年比116％！

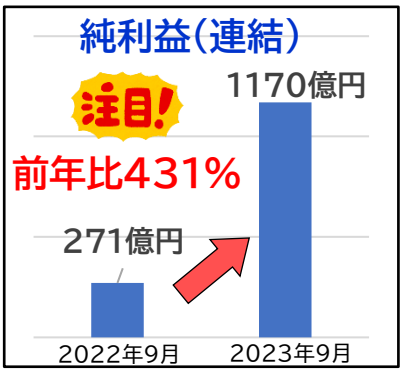
職場の努力により大幅回復を実現!!

鉄道・エキナカ・ホテル・SC の需要回復により、
全てのセグメントで増収増益を達成!!

厳しい労働実感・生活実感の下で会社施策を担い、安全輸送と業績回復を実現!!

♦その結果、利益も大幅増加し純利益は4倍増！





営業利益は前年比287%
純利益は前年比431%
7～9月の比較では純利益は 8.8 倍！
注目! 純利益の通期計画に対する進捗率は既に85％に到達!!

大幅増益を実現!

厳しい労働実感の中で会社施策を担い、安全輸送の確保に努めた結果、全てのセグメントで増収増益を達成し、前年同期比4倍超の増益を実現！

会社は年末手当満額回答で職場の苦闘に報いるべきだ!!

職場で議論を深め、東労組への結集を呼びかけ、年末手当満額回答を勝ち取ろう！

ŌMIYA NEWS

No.71　2023年11月5日　JR東労組大宮地本

第2四半期決算について、「鉄道運輸収入は目標未達」、「より収益を意識した取り組みが必要」との事ですが…

運輸事業の営業利益は既に年度末計画を上回り、前年比683％を達成!!

私たちが厳しい労働実感の中で安全輸送を担い、業績回復を実現したことは明らかだ!

■ 第2四半期決算で運輸事業の業績回復が鮮明に！

♦セグメント別営業利益(連結)の推移と進捗率

(単位:億円)	2022.9	2023.9	前年比	年度末計画	進捗率
全体	667	1917	287%	2700	71%
運輸事業	173	1183	683%	940	125%
流通・サービス	117	231	197%	600	38%
不動産・ホテル	319	403	126%	1000	40%
その他	43	91	209%	180	50%

※第二四半期決算説明資料を元に作成

鉄道運輸収入は目標の2018年比90%に対し89%の実績で、わずかに届きませんでしたが…

運輸事業の営業利益は目標を大幅に上回る!

既に年度末計画を上回り、前年比683%を達成!!

鉄道事業が会社全体の業績回復を力強く牽引した!!

♦セグメント別社員数(連結)の推移

(単位:人)	2018.3	2023.3	増減
運輸事業	58846	53808	△5038
流通・サービス	6408	5895	△513
不動産・ホテル	4031	4934	+903
その他	3908	4598	+690

※臨時従業員、パート・アルバイトを除く　有価証券報告書を元に作成

運輸事業の社員は減少!

負担は増大!

一方、運輸事業の社員数は5年間で約5000名も減少。他の事業より多くの人員が削減され、会社施策により業務が複雑化する中、負担はさらに増大！ その中で職場の奮闘により、大幅増益を達成しました!!

社員数減少と業務の複雑化で負担が増大する中、職場の苦闘により鉄道事業の大幅増益を実現!!

業績回復を実現したのは私たちであり、支払い能力も十分にある！　要求を堂々と掲げてたたかおう！

■ 一方、職場では年末手当満額獲得を求める声が噴出!!

- 業績回復は我々の努力によるもの。決算で成果は明らかであり、支払能力も十分。会社は満額回答で報いるべき。
- この間の賃金抑制と物価上昇により生活が本当に厳しい。実質賃金を考えると年間６ヵ月の水準は絶対に譲れない。
- 「連携と融合」や企画業務で負担が増大している一方、賃金は上がらずモチベーションも下がるばかり。「社員・家族の幸福の実現」のために満額回答すべき。
- 厳しい職場現実の中で退職を考える若手が多くいる。人材確保と将来の発展のため労働実感に見合う年末手当が必要
- 駅では要員不足の中で複数箇所勤務やイベントやインバウンド対応等に追われ、みんな疲弊している。職場の苦労に満額回答で報いるべき。

- 苦労して増収増益を達成したのに「鉄道業は目標未達」とされ、労いの言葉よりも出さない理由ばかりが並べられ、怒りを感じる。決算では鉄道事業の増益が会社の好業績に貢献した事が明らかであり、このような姿勢は許せない。
- 過去最高の働き度と物価上昇に賃金が追い付いていない。もう我慢の限界だ！　年間６カ月は絶対に必要！
- 社員には「目標未達」「コロナ前には戻らない」として賃金抑制する一方、役員報酬だけはコロナ前以上に増加。こんな経営姿勢は許せない。

- 統括センター化などにより今後さらに働き度が上がる中、現在の支給水準では安心して働けない。満額獲得が絶対に必要だ！

職場では厳しい労働実感・生活実感の下での苦悩や人材流出等への不安、経営姿勢への怒りの声が続出!!

年間６ヵ月の期末手当は譲れない！ 会社は今こそ職場の苦闘に報いるべきだ!

東労組への結集を呼びかけ職場でたたかいを創り出し、年末手当満額回答を勝ち取ろう!!

ŌMIYA NEWS

No.75　2023年11月9日　JR東労組大宮地本

満額回答勝ち取るため職場からたたかうぞ！

【年末手当の交渉を迎え更なるたたかいを展開中！①】

宮総支部 緊急第２回交渉報告集会

宇都宮支部 年末手当総決起集会

職場や支部で緊急集会を開催！多くの仲間が結集！

小山連合分会

小山車両センター分会

宇都宮支部

宇都宮支部総決起集会において、集会や分会で取り組んだ檄布を本部交渉団に渡しました！

職場の声・想いを本部交渉団に届けました！

宮総支部 本部激励行動

小金井運転区分会 本部激励行動

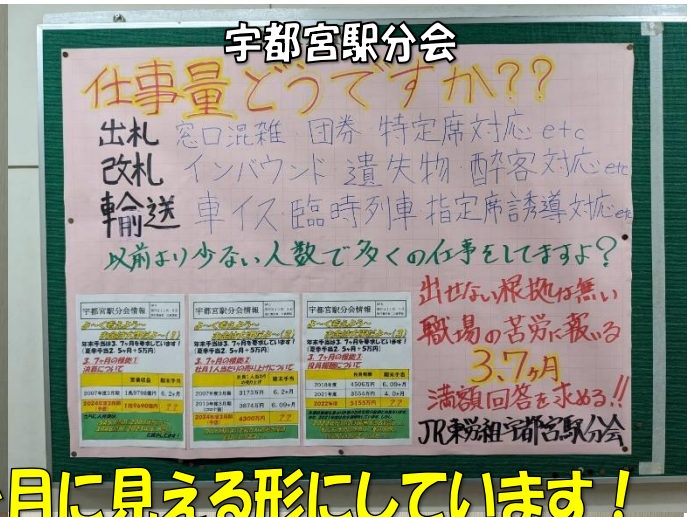
職場のたたかいで満額回答を勝ち取ろう！

ŌMIYA NEWS

No.76　2023年11月9日　JR東労組大宮地本

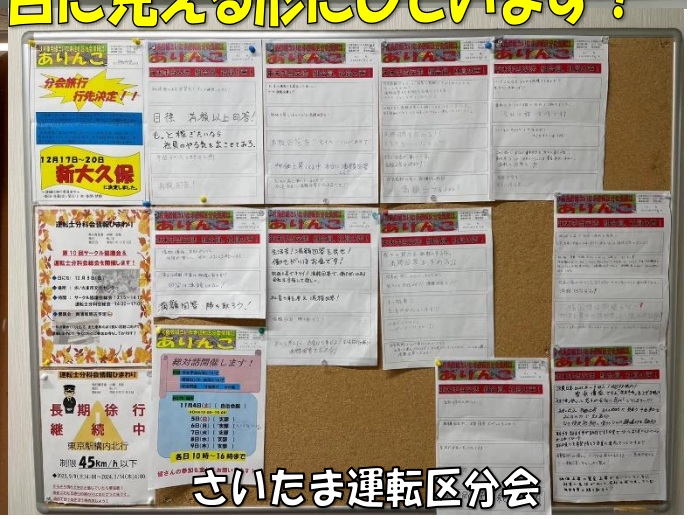
満額回答勝ち取るため職場からたたかうぞ！

【年末手当の交渉を迎え更なるたたかいを展開中！②】



掲示板を活用し、怒りの声を目に見える形にしています！

宇都宮支部



さいたま運転区分会

職場で行った座談会で出た、組合員からの**怒り・不満の声！**

「業務が集中している人がいる」「物価上昇で衣食住が高くなり困る」
「出張が増える中、人が減り来月は2名退職。業務が増える中で業務をどうするか」
「一人当たりの収益が30%増なら、俺らの総支給に30%上乗せさせろ！」
「エルダーだけど業務量が多い。賃金の対価とあっていない！」

私たちの生活実感や労働実感に応えようとしない
会社姿勢に不満や怒りが噴出！

職場のたたかいで満額回答を勝ち取ろう！